

施工のポイント

作業取り扱い上の注意

- 移送中における傷、へこみ、雨漏れ等に注意し、保管は直射日光や多段積み避けてください。タテ積み保管時には倒れない工夫をしてください。
- ポリリウム (BKシートは除く) は裏面にガラス基材を使用しています。カッターの切り口や破れ口にガラス繊維が露出する場合がありますので、直接皮膚に触れないようにご注意ください。万一、眼に刺激を感じた場合や身体に異常が感じられましたら決してこすらず流水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- 接着剤での作業の際、接着剤の缶に表示してある労働安全衛生法による注意点をよく読んでください。
- 施工終了後、残材・切り屑を始末し、床面を清掃してから引き渡してください。

施工上の注意

下地のチェックは充分に

- 仕上がりの良し悪しは下地の状態が決まります。下地は良く乾燥させ、凹凸、不陸、隙間を補修し、ゴミ、塗料等の汚れは完全に除去してください。伸縮の恐れがある下地への施工は充分にご確認ください。
- 湿気のある下地や表面強度のない下地は接着力の低下の元となる為ご注意ください。

下地に合った接着剤

- 下地の種類、乾燥状態、床材の使用条件等を考慮し、適切な接着剤を選定してください。

必要な長さにカット

- 柄合わせを必要とする施工には、要尺検出の際、柄マツ分(商品頁に記載)と余尺(約5~10cm)をプラスした材料を準備してください。

仮敷き

- 冬場は十分に室温を上げ(20℃前後)、巻癖が取れるまで養生してください。トーチランプ等で部分的に暖めるのは避けてください。変色や反りの原因となります。

壁際等の材料カット

- BKシートの製品は、壁際・柱回り等は、きつく押し込まない様にカットしてください。当て切りやトリマー等を使わずに幅定規等を用いて切り込んでください。

接着剤の用途及び作業性

オープンタイムは気候(温度・湿度)、下地、使用床材によって変化します。

種類・品名	材料	下地	工法	材料標準塗布量	貼付可能時間	オープンタイム	施工時の条件
合成ゴム系ラテックス形	BKシートを除く ポリリウム全般	良く乾燥したモルタル床・木質床	一般工法	300g/m ²	20~30分	10~15分	5℃以下では施工できない。
アクリル樹脂系エマルジョン形	ポリリウム全般	良く乾燥したモルタル床・木質床	一般工法	300g/m ²	30分	10~15分	5℃以下では施工できない。
エポキシ樹脂系溶剤形(二液型)	ポリリウム全般	モルタル床・木質床・鉄板下地	耐水工法	350g/m ²	60分	10~20分	5℃以下では硬化が遅れる。
ウレタン樹脂系溶剤形	ポリリウム全般	モルタル床・木質床・鉄板下地・プラスチック下地	耐水工法	360g/m ²	40~60分	15~25分	5℃以下では硬化が遅れる。
酢酸ビニル樹脂系溶剤形	巾木	良く乾燥したモルタル・木質	立上がり部	350g/m ²	30分	10~20分	—

メンテナンス

- ふだんのお手入れは、よく絞ったモップか雑巾での水拭きで充分です。
- 汚れのひどい時には、中性洗剤を薄く溶かし雑巾等で拭き取り、更に綺麗な雑巾等で水拭きをしてください。
- 直射日光が当たる床面は気付かぬうちに少しずつ退色することがあります。カーテン・ブラインド等で日除けの工夫をしてください。
- ワックスを塗布する際は、最初にクリーナー等で床面の汚れを落とします。綺麗な雑巾等で水拭きし、汚れと余分なクリーナーをよく拭き取ってください。床面が十分に乾燥したことを確認後、ワックスを塗布してください。乾燥が不十分な場合、密着不良の原因となります。

推奨ワックス: NEW万能床用樹脂ワックス(アサヒペン製)同等品、オール(リンレイ製)同等品
推奨クリーナー: 人と環境にやさしい中性ワックスとり(アサヒペン製)同等品、オール床クリーナー(リンレイ製)同等品
ワックス・クリーナーにつきましては、ハウスクリーニング業者・美装業者にお問い合わせください。
または、各社ホームページをご参照ください。(株)アサヒペン <https://www.asahipen.jp/> (株)リンレイ URL <http://www.rinrei.co.jp>

※ワックスを塗布すると、抗ウイルス機能が発揮されません。

汚染についての注意

ゴム汚染について

- ある種のゴム製品は、長尺塩ビシートのような軟質塩ビ製品に長時間接していると、ゴム中の成分により床材を暗褐色に変色させる可能性がある為、ゴム製品とは直接接させないでください。この汚染はゴム製品の使用をやめた後、時間を経て出る時もある為、予防として家具の脚キャップ・机や椅子等のゴムキャップ・キャスター等はゴム製品以外の保護具(アルミ製、ポリエステル製等)を使用し、直接床材と接触しない様にしてください。また、自動車、自転車のタイヤ等も変色の原因となる為、床材上に放置しないでください。やむをえず置く場合には、床材との間に保護具を入れ直接の接触は避けてください。

下地からの汚染について

- 下地に塗布された防汚剤、防蟻剤または内装用塗料で床材が汚染・着色する可能性がある為、油性の場合はシンナーで、水性の場合は水で拭き取り、保護シート等での処置後施工してください。特に新築・改築時や、白蟻退治等の工事の際には、工事業者に長尺塩ビシートを使用する事を説明し注意をうながしてください。

柄合わせを美しく処理

- 柄マツがある商品は1枚目と2枚目の柄をピッタリ合わせて、カッターを垂直に立てて2枚を一度に重ね切りしてください。

圧着を充分に

- 接着施工後、圧着ローラーや布を巻いた角材で中心から外に向けて中の空気を抜く様に圧着し、空気溜まりやガスを取ってください。特に壁際や継ぎ目は丁寧に行ってください。

継ぎ目処理

- シーム処理
適切なシーム液でシーム処理をしてください。
- 溶接処理(BKシートのみ)
ジョイント部分をU字型に溝を切り、専用溶接棒を溶接機で溶着後、余盛り部分をスパトラナイフ等でカットしてください。(注: BKシート以外は溶接出来ません。)

端末処理

- 開放廊下等の耐水工法での端部の処理はSGスーパーシールで止水してください。

ご使用上の注意

- 水、油類を床面にこぼした時は、滑りやすくなる為すぐに拭き取ってください。
- 漂白剤、毛染液等の化学薬品を床にこぼしたときは、すぐに拭き取ってください。床材の変色、変質をきたす可能性があります。
- 重量物や尖った脚の物には、ゴム製品以外の保護具を付けてください。引きずると傷を付けるおそれがある為、移動の際にはご注意ください。
- 軟質塩ビ製品の為、タバコの火等で焦げ跡等が付きまします。ご注意ください。

その他汚染について

- 染料系オイルステイン等で着色された家具類は、直接接すると長尺塩ビシートを変色させる可能性があります。床材の間に保護具を入れてください。
- 粘着テープ(ガムテープ・布テープ等)は、ゴム汚染と同様の汚染が生じることがある為、アクリル系粘着剤のテープをご使用ください。
- 一部の洗濯洗剤に含まれる蛍光塗料(蛍光増白剤/入浴剤等)についても変色する可能性があります。(床に付着した場合、速やかに拭き取ってください。)
- 汚染物質を含んだスリッパ・バスマット・トイレマット等と接触をしますと汚染されることがありますので使用を控えてください。
- 化粧品(毛染液・マニキュア)に含まれる汚染物質が床に付着すると変色する可能性がある為、付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
- 淡色の床材をトイレで長年ご使用いただいた場合、足跡が残る場合があります。

